

指定管理者評価表

1 基本情報

(1) 公の施設の名称	
堺市泉ヶ丘プール	
(2) 施設の設置目的	
市民の健康増進に寄与し、レクリエーションの場を提供するために設置	
(3) 所管部局	
建設局 公園緑地部 泉ヶ丘公園事務所	
(4) 指定管理者名	
株式会社サンアメニティ大阪	
(5) 指定期間	
平成29年5月1日から令和元年9月30日まで(2年5か月間)	
(6) 主な事業	
屋外プールの管理運営	
(7) 有料施設の有無	
有(利用料金制)	
(8) 公募・非公募の別	
公募	
(9) 主な利用者	(10) 市内における受益対象者数
市民	不特定多数
(11) 近隣の類似施設名及び当該施設の評価に用いられている指標	
金岡公園プール・大浜公園プール	有責事故発生件数や利用者の満足度

2 管理運営状況

(1) 特筆すべき事項(地域貢献等の実績、取組、成果等)

・指定管理3年目の管理期間最終年度であり、また施設自体も48年目をむかえ、廃止される施設である。1年目、2年目の経験を活かしスムーズな運営開始準備、運営管理を行うことができたが、長引く梅雨の影響や、お盆時期の台風接近に伴う臨時休場などによる、天候の影響によりプール利用者数が昨年度より減少したが、大きな事故なく営業を行うことができた。また、9月1日に実施したさよならイベント、9月22日に実施した地元イベントにも積極的に協力し、思い出に残る泉ヶ丘プールの最後をむかえることができた。

(2) 利用者サービス

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指定管理者名	シンコース スポーツ・アズ ビル共同事業 体	株式会社サン アメニティ大 阪	株式会社サン アメニティ大 阪	株式会社サン アメニティ大 阪	
ア 利用者数 (人)	119,048	113,654	98,236	89,743	
利用者数の算出 方法	入場者数の集計				
市による状況分析	主な利用者である子どもの減少やレジャーの多様化により、利用者は年々減少傾向にあるが、屋外プールであることから営業期間中、特に土日祝日の天候に大きく影響を受ける。				

イ 稼働率 (%)	—	—	—	—	
稼働率の算出方 法	—				
市による状況分析	—				

ウ 利用者満足度 (%)	79.9	75.8	80.5	81.6	
利用者満足度の 測定方法	プール営業期間中、管理棟出入口にアンケート用紙、回収箱を設置。令和元年度は197名分のアンケートを回収。水質、施設の雰囲気などの12項目について、満足度を測定。				
市による状況分析	設置から48年を経過した施設であり、施設、設備に対する不満が多い。				

(3) 管理体制等

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
ア 職員数(人) ※各年度4月現在	2	2	2	2	
イ 職員研修(回) ※令和2年度は予定回数	12	10	10	10	
ウ 要望、苦情等(件)	1	0	1	0	—
エ 事件、事故等(件)	3	1	4	0	—

市による状況分析	職員数については、監視員などのスタッフをアルバイトにて採用しているため、職員数は6月から増員される(プール営業期間中158名)。職員研修はスタッフに対する事前研修や応急救急研修など。要望、事故等はなかった。				
----------	---	--	--	--	--

(4)収支状況(単位:円)

■指定管理業務

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度(予算)
ア 収入	指定管理料	24,685,714	39,891,460	40,000,000	40,000,000	
	利用料金	35,351,196	33,319,000	29,577,918	25,794,737	
	負担金	0	0	0	0	
	その他収入	7,677,842	8,089,152	7,754,952	6,959,771	
合 計		67,714,752	81,299,612	77,332,870	72,754,508	
イ 支出	人件費	36,945,779	40,035,052	41,449,984	41,871,880	
	委託料 ()内は総支出額 に占める委託料の割合	9,335,592 (13.6%)	6,841,872 (8.6%)	7,479,936 (9.7%)	4,707,920 (6.1%)	
	修繕費	1,293,732	1,963,092	686,340	746,820	
	光熱水費	15,619,979	13,538,150	12,779,975	14,629,850	
	その他経費	5,414,776	17,542,214	14,982,119	14,884,446	
合 計		68,609,858	79,920,380	77,378,354	76,840,916	
利用者一人当たりの支出額		576	703	788	856	

ウ 収支差額	-895,106	1,379,232	-45,484	-4,086,408	
--------	----------	-----------	---------	------------	--

エ 市への納付金の額	-	-	-	-	
------------	---	---	---	---	--

オ 徴収委託の場合 の徴収額	-	-	-	-	
-------------------	---	---	---	---	--

市による状況分析	主な利用者である子どもの減少やレジャーの多様化により、利用料金収入が減少傾向にある。最低賃金の上昇に伴い、人件費が上昇傾向である。屋外プールであることから天候により利用料金収入が大きく変動し、安定的な収支予測が困難である。
----------	---

■自主事業 (有)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度(予算)
ア 収入	2,541,658	1,550,400	2,583,000	2,600,370	
イ 支出	2,305,205	1,318,486	2,549,584	2,841,260	
ウ 収支差額	236,453	231,914	33,416	-240,890	
エ 市への納付金の額	-	-	-	-	
オ 事業数(回)	66	38	61	61	
カ 参加者数(人)	3,252	2,511	4,530	4,073	

主な自主事業	プールアトラクション (ビッグローラー)
--------	----------------------

市による状況分析	平成29年度に指定管理者が変更となったため単純比較は難しいが、プール利用者に人気のビッグローラーは引き続き実施した。運用方法や稼働日数により収支に変動が生じる。(事業数、参加者数はビッグローラーのみの集計)
----------	---

3 目標管理、評価等

(1)適正な管理運営の確保

目標管理	評価の指標	利用者の安全確保	(設定理由) プールを安全・安心に利用していただくため。
	目標	指定管理者の管理瑕疵に係る事故発生件数0件	(設定理由) 事故を未然に防ぐため、有責事故の発生は認められない。
	実績	有責事故の発生はなかった。	(分析) 適切な監視体制により有責事故は発生しなかった。 ※目標未達成時は詳細な原因分析
<p>プールでの死亡事故(全国)</p> <p>平成26年 2人(0人) 平成27年 3人(2人) 平成28年 5人(2人) 平成29年 1人(1人) 平成30年 0人 令和元年 5人(2人) ()内は中学生以下 警察庁統計「令和元年夏期における水難の概況」</p>			

平等利用、維持管理、人員配置、事故対応、安全・緊急時対策等に関する特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・入場時の混雑対策として、券売機を増設し対応した。 ・プール営業最終年度ということで、多くの来場者を想定し、適切な人員配置を行った。 ・防犯カメラ、頻繁な巡回により事故予防に努めた。
---------------------------------------	---

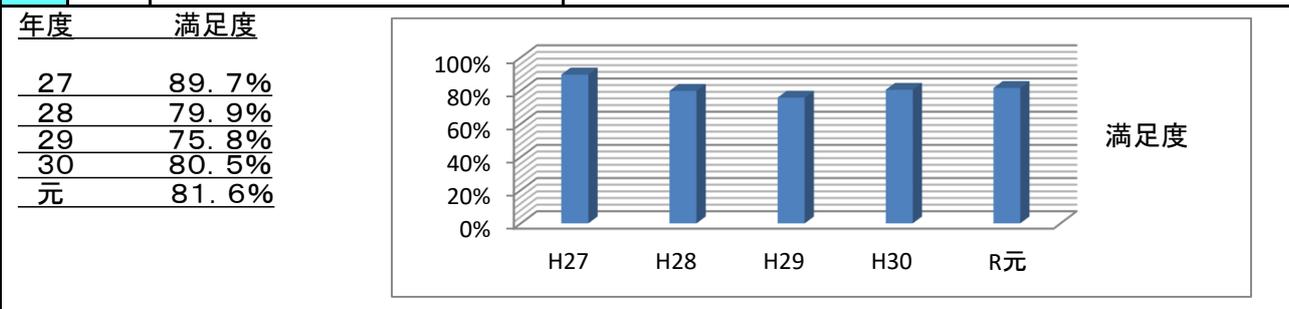
利用者等からの意見、要望、苦情等とその対応	<ul style="list-style-type: none"> ・プール営業最終年度ということもあり、苦情や要望よりも労いや感謝の言葉をいただくことが多かった。
-----------------------	--

評価等	指定管理者の自己評価		市の評価	
	評価	A		A
具体的な理由	3期のプール営業を通じ、管理瑕疵に係る事故発生はなく、大きな怪我や事故などもなく管理運営を行うことができた。また、施設の営業自体が最後ということもあり、さよならイベントの実施にも関わることができ、市民の皆様が親しまれた施設であったことが身に染みて感じることができ、運営会社としてよい経験、実績となった。		施設の管理運営に関し、最優先すべき安全・安心に関する項目で、2年5カ月間の指定期間を通じ、目標を達成できたことは評価できる。また、プール営業を締めくくるさよならイベントにおいても、全面的に協力いただき、イベント参加者に楽しんでいただけたことは、大きく評価できる。	
対応策等	/		/	

評価基準	S	効率的又は効果的な管理運営に資する具体的な業務改善等の取組みを行い、仕様書で求める目標や水準を大幅に上回り(120%以上)、かつ前年度実績を上回る成果があり、特に優れているもの
	A	効率的又は効果的な管理運営に資する具体的な業務改善等の取組みを行い、仕様書で求める目標や水準を上回り、かつ前年度実績を上回る成果があり、優れているもの
	B	概ね仕様書で求める目標や水準どおり(80~100%)の成果があり、適正なもの
	C	仕様書で求める目標や水準を下回り、努力が必要なもの
	D	管理運営が適切に行われたとは認められず、改善が必要なもの

(2)利用者サービスの向上への取組

目標管理	評価の指標	利用者アンケート調査における施設運営に関する満足度の「水質、快適性、スタッフ、売店」の項目	(設定理由) 利用者本位の運営をめざすため。
	目標	利用者アンケート調査における満足度「満足」「やや満足」の合計90%以上	(設定理由) 概ね良好な運営が行われていると思慮できること。
	実績	満足度合計が81.6%で、目標を達成できなかった。	(分析) ※目標未達成時は詳細な原因分析 施設の老朽化に伴う「更衣室やトイレ等の清潔さ」、市の施設という認識から「売店の値段」に対する満足度が低いと考えられるが、前年度よりも満足度は上昇した。なお施設出口でアンケートと一緒にメッセージフラッグを実施したため、アンケート数が、前年よりも減少した。



利用者サービス、利用促進、自主事業、人権尊重に配慮した情報提供、利用者意見・要望の反映等に関する特記事項	前年度から引き続きビッグローラー、子ども向けイベントの「スイカ割り」と「宝探し」を自主事業として実施。また3階カフェを使用した「思い出ギャラリー」、施設の最後を飾る「さよならイベント」を実施。
--	--

利用者等からの意見、要望、苦情等とその対応	配管詰り除去洗浄や小まめな清掃、トイレ横の壁に写真映えスポットを作るなど、満足度の低いトイレについて老朽化を感じさせないよう努力しましたが、目標の達成には至りませんでした。
-----------------------	--

評価等	指定管理者の自己評価		市の評価	
	評価	B	B	B
	具体的な理由	満足して施設を利用していただけよう誠意努力したが、設置から48年を経過し、閉鎖予定で大規模な改修も行えないことから、施設に対する満足度を向上することができなかった。その半面、施設の雰囲気やスタッフの対応などのソフト面は高い評価を得ました。	経年営業に伴う施設の老朽化など、満足度を得にくい事柄に対しては、満足度が低いこともやむを得ないものとする。プール最後の影響ということで、プール場内の壁に写真映えスポットを作るなど、明るい雰囲気づくりを行ったことは多いに評価できる。	
対応策等				

評価基準	S	効率的又は効果的な管理運営に資する具体的な業務改善等の取組みを行い、仕様書で求める目標や水準を大幅に上回り(120%以上)、かつ前年度実績を上回る成果があり、特に優れているもの
	A	効率的又は効果的な管理運営に資する具体的な業務改善等の取組みを行い、仕様書で求める目標や水準を上回り、かつ前年度実績を上回る成果があり、優れているもの
	B	概ね仕様書で求める目標や水準どおり(80~100%)の成果があり、適正なもの
	C	仕様書で求める目標や水準を下回り、努力が必要なもの
	D	管理運営が適切に行われたとは認められず、改善が必要なもの

(3) 収支の実績

目標管理	評価の指標	利用料金収入額 (プール・ロッカー利用料金)	(設定理由) 市としての直接の経費の支出となるため。																																												
	目標	利用料金収入額(プール・ロッカー利用料金) 29,121千円以上/年	(設定理由) 過去の実績から設定。																																												
	実績	利用料収入は25,794,737円であり、目標を達成できなかった。	(分析) ※目標未達成時は詳細な原因分析	施設の営業最後の年であり、閉館を惜しむ来場者の増加を期待したが、梅雨明けの遅れや、お盆時期の台風接近に伴う臨時休場など、天候の影響による入場者数の減少。																																											
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>一人当たり指定管理料</th> <th>入場者数(人)</th> <th>指定管理料(円)</th> <th>利用料金収入額(円)</th> <th>一人当たり経費(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>26年</td> <td>234円</td> <td>105,394人</td> <td>24,685,714円</td> <td>31,890,067円</td> <td>583円</td> </tr> <tr> <td>27年</td> <td>236円</td> <td>104,414人</td> <td>24,685,714円</td> <td>31,495,873円</td> <td>621円</td> </tr> <tr> <td>28年</td> <td>207円</td> <td>119,048人</td> <td>24,685,714円</td> <td>35,351,196円</td> <td>576円</td> </tr> <tr> <td>29年</td> <td>350円</td> <td>113,654人</td> <td>39,891,460円</td> <td>33,319,000円</td> <td>703円</td> </tr> <tr> <td>30年</td> <td>407円</td> <td>98,236人</td> <td>40,000,000円</td> <td>29,577,918円</td> <td>788円</td> </tr> <tr> <td>元年</td> <td>445円</td> <td>89,743人</td> <td>40,000,000円</td> <td>25,794,737円</td> <td>856円</td> </tr> </tbody> </table>							一人当たり指定管理料	入場者数(人)	指定管理料(円)	利用料金収入額(円)	一人当たり経費(円)	26年	234円	105,394人	24,685,714円	31,890,067円	583円	27年	236円	104,414人	24,685,714円	31,495,873円	621円	28年	207円	119,048人	24,685,714円	35,351,196円	576円	29年	350円	113,654人	39,891,460円	33,319,000円	703円	30年	407円	98,236人	40,000,000円	29,577,918円	788円	元年	445円	89,743人	40,000,000円	25,794,737円	856円
	一人当たり指定管理料	入場者数(人)	指定管理料(円)	利用料金収入額(円)	一人当たり経費(円)																																										
26年	234円	105,394人	24,685,714円	31,890,067円	583円																																										
27年	236円	104,414人	24,685,714円	31,495,873円	621円																																										
28年	207円	119,048人	24,685,714円	35,351,196円	576円																																										
29年	350円	113,654人	39,891,460円	33,319,000円	703円																																										
30年	407円	98,236人	40,000,000円	29,577,918円	788円																																										
元年	445円	89,743人	40,000,000円	25,794,737円	856円																																										

収入増加のための取組、収支状況、経営状況、経理事務等に関する特記事項	収入増加のため、自主事業の実施。 利用者増加のため、情報紙への記事掲載、フェイスブックなどのSNSの活用、プール営業の最後をお知らせするのぼり旗やポスターの設置。
------------------------------------	--

利用者等からの意見、要望、苦情等とその対応	特になし。
-----------------------	-------

評価等	指定管理者の自己評価		市の評価		
	評価	B		B	
	具体的な理由	プール営業最後の夏ということもあり、閉館を惜しむ来場者の増加を見込んでいましたが、梅雨明けが遅れたことや、お盆時期に台風接近に伴う臨時休場があったことなどから、入場者数が減少、利用料金の収入も上向かなかった。		前年に比べ営業日数が少なく、夏休み期間の短縮や梅雨明けの遅れ、お盆時期の台風接近に伴う臨時休場などの悪天候による影響のため、プール利用者数の減少に伴い、利用料金収入減少となったが、夏季の屋外プールは天候に大きく影響を受けるため、やむを得なかったと考える。	
対応策等	/		/		

評価基準	S	効率的又は効果的な管理運営に資する具体的な業務改善等の取組みを行い、仕様書で求める目標や水準を大幅に上回り(120%以上)、かつ前年度実績を上回る成果があり、特に優れているもの
	A	効率的又は効果的な管理運営に資する具体的な業務改善等の取組みを行い、仕様書で求める目標や水準を上回り、かつ前年度実績を上回る成果があり、優れているもの
	B	概ね仕様書で求める目標や水準どおり(80~100%)の成果があり、適正なもの
	C	仕様書で求める目標や水準を下回り、努力が必要なもの
	D	管理運営が適切に行われたとは認められず、改善が必要なもの